

第20回 JIA25年賞

JIA25年賞では、「25年以上の長きにわたり、建築の存在価値を発揮し、美しく維持され、地域社会に貢献してきた建築」を登録・顕彰します。
今号では、2020年度の「JIA25年賞」受賞4作品と「JIA25年建築選」登録9作品を紹介します。

審査委員 六鹿正治(審査委員長)、磯 達雄、今村創平、内田祥士、倉方俊輔

総 評

25年賞と昭和・平成の保存再生

2020年は昭和・平成の建築物の保存についていくつか目立った動きがあった年だ。移転計画により危機にさらされていた宮城県美術館は、建築家たちによる保存運動と市民的支持の広がり相まって、現状存続を県が決定するに至った。新棟PFI事業化により危機にさらされている葛西臨海水族園は、JIAからの保存再生の陳情書が東京都議会により採択されて執行部局にまわされたが、状況は依然予断を許さない。

2020年は平成でいうと33年目でしかないのに、その時期の前後に建てられた建築物が既に解体の危機にさらされているのである。

25年が長期かどうか意見の分かれるところであるが、「JIA25年建築選」と「JIA25年賞」は、長期にわたり所有者や利用者に愛され、建築家・施工者・管理者の良好な関係の下に管理運営され、将来にわたっても確実に維持されそうな優れた建築に与えられることになっている。

すなわち、建築家の世界で評価の高い名建築であるだけでなく、長期にわたる市民の理解や社会的支持の広がりがあったこそ、はじめて成り立つものだと考えられる。

「JIA25年建築選」は応募作品を、その所在地のJIA支部で審査し、登録するものであり、その段階で既に評価を得ているものである。「JIA25年賞」はそれらの中から、さらに現地審査を経てさまざまな観点から絞り込んだ数作品に授賞することになっている。

そんな中、2020年度の「JIA25年賞」に選ばれたのは4作品。まず、ともにバブル崩壊後の90年代半ばに建てられた磯崎新設計の奈義町現代美術館と高崎正治設計の輝北天球館。これらはいずれも当時注目を集めた公共の文化施設であるが、厳しい予算の中で良好な状態を維持する困難さを、竣工当初から変わることなく管理者の熱意とユーザーの愛情で乗り越えてきた好例である。

国建・エー・アール・ジー設計の沖縄公文書館と、築後60年の佐藤総合計画の防府市公会堂は、いずれもコンクリート建築のゆるぎない質の高さと管理の良さを伝えるものである。前者は特に風土性との関係で、後者は特に長寿命性との関係で、それぞれコンクリートの力を伝えている。

なお、すでに道庁内で解体が決定している「北海道100年記念塔」が北海道支部から25年建築としての登録希望が上がってきたが、建築主に応募意思がないため、対象外とせざるをえなかった。今後への問題提起と受け止めている。

JIAが25年賞の授賞事業を行っていることが、昭和・平成の優れた建築の保存再生への社会的支持につながっていくことを願う。

(JIA会長・25年賞審査委員長 六鹿正治)

「JIA25年建築選」登録作品

2020年度「JIA25年建築選」に登録された9作品を紹介します。

登録No.	作品名／所在地	建築主	設計者	施工者	現況写真
233	春日山の家／ 春日山のアトリエ 新潟県上越市 1980年・1992年竣工	大橋秀三	大橋建築設計工房	久保田建築	
235	カトリック那覇教区 事務所および安里教会 沖縄県那覇市 1990年竣工	宗教法人カトリック 沖縄地区代表社員 ウェイン・パーシ神父	根路銘設計	丸元建設	
236	ある町医者への記念館 鹿児島県薩摩郡 1995年竣工	前原大作	堀部安嗣	末廣組	
237	竹中技術研究所 千葉県印西市 1993年竣工	竹中工務店	竹中工務店	竹中工務店	
240	平塚ガーデンホームズ 神奈川県平塚市 1983年竣工	第一ホテルエンタープ ライズ	SUM 建築研究所	鹿島建設	
241	東京都中央卸売市場 大田市場 東京都大田区 1989年竣工	東京都	日建設計	鹿島建設・ 大林組・ 竹中工務店	
242	日本電気本社ビル “NECスーパー タワー” 東京都港区 1990年竣工	日本電気	日建設計	鹿島建設・ 大林組 JV	
244	もやい住宅Mポート 熊本県熊本市 1992年竣工	津浦もやい住宅建設 組合	延藤安弘十 もやい住宅設計者集団	岩永組	
245	砧保育園 東京都世田谷区 1995年竣工	世田谷区	小沢明建築研究室	小野建設	

撮影：進藤祐一

撮影：エスエス東京 島尾望

撮影：藤澤裕

撮影：石川雅博